

Unit 7

(概要)

Part 2(応答問題)対策の最終回として、否定・付加疑問を学びます。TOEIC では頻繁に出題され、難易度の高い問題に分類されます。

Part 6(長文穴埋め問題)対策を本ユニットで行います。これまでに学んだ品詞と接続詞関連語句の知識を Part 6 でも活用してもらいます。また、文法テーマの復習だけでなく、Part 6 で出題される文補充問題では文章の意味を把握することを心がけます。

Speaking Test 問題(P96)では、引き続き応答問題を練習しますが、理由を答える形式に取り組みます。Unit 6 までの問題とは異なり、少し長い答えを発言することが要求されます。

◆ Unit 7 Listening (45 分)

時間配分目安	授業進行案	問題数
Step 1-1 (5 分)	Part 2 の例題に取り組みます。少し難しい問題につき、音声を 2 回ずつ流すと良いでしょう。	TOEIC 形式 2 問
Step 1-2 (10 分)	Step 1-1 の応答をディクテーションします。数回繰り返し音声を再生することをお勧めします。	2 問
Step 2 (15 分)	否定・付加疑問文の作り方と答え方を解説後、文字情報を頼りに、TOEIC 形式の問題に取り組みます。全て否定・付加疑問文を使った応答です。	4 問
Step 3 (15 分)	TOEIC 形式の問題に取り組みます。問題を解き終えた後には、次ページのスクリプトを見て、ペアで意味を考えながら正答を探してもらおうと良いでしょう。難易度が高く 500 点未満の学習者は、この種の問題は 5 割未満の正答率になることが予想されます。	TOEIC 形式 10 問

◆ Unit 7 Reading (40 分)

時間配分目安	授業進行案	問題数
Step 1-1 (10 分)	Part 6(長文穴埋め問題)の概要を説明します。その後、品詞(Unit1-3)の復習として、派生語を確認します。	5 問
Step 1-2 (5 分)	接続詞関連語句(Unit 4-5)の復習として、つなぎ言葉の分類を行います。品詞、接続詞関連語句ともに Part 6 に頻出するテーマです。	1 問
Step 2-1, 2-2 (15 分)	品詞と接続詞関連語句の問題だけで構成されています。文章ごとに 5 分程度の演習と解説、もしくは、2 つの文章に 10 分程度で取り組んでもらった後、解説しても良いでしょう。	6 問

Step 3 (10分)	Part 6 形式の問題に取り組みます。品詞、接続詞関連語句問題に加えて、文補充と語彙問題が出題されています。演習時間の目安は5分程度です。	TOEIC 形式 4問
-----------------	--	----------------

◆ Speaking Test (5分)

時間配分目安	授業進行案	問題数
Speaking Activity (5分)	疑問文に対する応答問題を行います。	TOEIC 形式 2問

【Unit 8 の予習宿題】

* P104 の単語を調べることを宿題にしておくことをお勧めします。